

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ブータン王国
2. 案件名	ブータン王国母子保健センターにおける小児救急医療人材育成プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ブータン王国では、小児救急患者の死亡率が極めて高く、最上位医療機関である王立リファラル病院の小児集中治療室（Pediatric Intensive Care Unit：以下、PICU）でも、日本国内の一般的な PICU と比較して約 15～20 倍に達している。この状況は深刻であり、早急な改善が求められている。 2023 年末には、現王妃の名を冠した「ブータン王国母子保健センター」が新設され、王立リファラル病院の小児科および産婦人科部門が同センターへ移転した。これに伴い、医療の質の向上および医療人材の育成が喫緊の課題となっている。 これらの課題に対応するため、日本の小児救急医療分野における知見を活用することで、ブータン国内の小児の救命率向上に寄与できる可能性がある。こうした背景を踏まえ、日本小児救急医学会国際委員会を母体として、本事業の実施を提案するに至った。
4. プロジェクト目標	ブータン王国母子保健センターの PICU における医療従事者の知識や技術が強化され、チーム医療が実践される
5. 対象地域	ブータン王国（ティンブー）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	・ブータン王国母子保健センターPICU で勤務する約 10 名の小児科医や小児科研修医 ・PICU に勤務する約 30～40 名の看護師 ・国内他施設に勤務する小児科医（小児科専門医以外に小児を主に診療する医師を含む）約 5 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. ブータン王国母子保健センターPICU に勤務する医師及び看護師の重症患者管理に関する知識及び技術が強化される 2. 同 PICU に勤務する医師及び看護師により、適切なチーム医療が実践される 3. 同 PICU において、医療の質の向上につながる活動が実践される <活動> 1. 重症小児患者の管理に関する講義動画の作成、講義および訓練の実施 2. チーム医療の実践に必要なスキル習得を目的とした研修の実施 3. 医療の質の向上につながるデータ収集・分析・振り返りの仕組みの確立
8. 実施期間	2025 年 11 月～2028 年 10 月（3 年）
9. 事業費概算額	9,985 千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	ブータン王国母子保健センター Gyaltuen Jetsun Pema Wangchuck Mother and Child Hospital (GJPWMCH)
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	一般社団法人 日本小児救急医学会
2. 主な活動内容	小児救急医療の進歩、発展及び普及を目的とした、学術的研鑽（学術集会の開催及び学術誌の発刊）、教育、他団体との連携など行う。